各団体 年頭所感

安全・安心の守り手として

佐賀県建設業協会会長　松尾 哲吾

あけましておめでとうございます。

令和2年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、六角川水系を中心に大雨による大規模な浸水被害や台風19号及び前線による大雨被害など全国各地で大規模な災害が頻発しました。

被災されました方々に対して、改めて、お見舞い申し上げます。

さて、県に最低制限価格等の見直しを要望してきました。比較的小規模のところにも、目を向けていただいている独自方式ですが、昨年7月に、予定価格を一律92%に引き上げていただきました。

国においては、防災・減災、国土強靭化対策の事業が、平成30年度から3年間、集中的に実施されており、また、働き方改革等建設産業の健全な発展に必要な施策が出されていますが、依然として地方の建設業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。

特に、事業量の地域間格差は年々拡大しており、地方の景気低迷と経済的格差を増大させ、地域の建設業にも大きな影響を与え、災害対応にも不安が生じています。

これまで、長い間冬の時代が続いてきたため、担い手が十分確保・育成されていない中で、激甚化する災害対応等を含め、事業が短期的に集中する状況に苦慮しており、将来を見通し、働く人たちの処遇を改善していくためには、中長期的な建設投資計画の策定と安定的な予算化が望まれます。

また、年度末に工事完成時期が集中することを避けるため、債務負担行為や繰越など柔軟な制度運用が拡大されていますが、働き方改革や経営の安定化にもつながるように、発注の平準化から施工時期の平準化へと進み、県内の地方自治体にも広がっていくことを期待しています。

今年も、このような環境変化やＩＣＴの利活用、規格の標準化等時代の流れに適切に対応していくとともに、社会資本の整備や維持管理はもとより、国や県等の災害、防疫対応活動への協力等県民の皆様の安全・安心の守り手として、これまでと同様に取り組んでいきたいと思います。

皆様方には、本年も、一層の御支援、御指導をお願い申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

安全に高品質な舗装施工を目指して

佐賀県舗装部会会長　中野 武志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。年号が令和に変わって初めてのお正月を迎えました。皆さまにおかれましては、清々しく新年をお迎えのことと存じます。

昨年8月28日未明から降り続いた雨は、佐賀県内各地に大きな爪痕を残しました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。私ども舗装部会会員各社も県内それぞれの地区の道路復旧工事はもとより、被災現場の災害復旧に奔走しました。世界的な異常気象は今後も続く懸念が有りますが、私たち舗装部会は「地域に寄り添う」活動をこれからも積極的に行って参ります。

佐賀県舗装部会は今年で発会以来54年目を迎えます。この間、舗装工事専門企業の団体として、より高品質の舗装工事を施工することで、道路インフラの一翼を担って参りました。舗装施工機械を自社で所有し、施工技術者、重機オペレーター、舗装作業員を雇用。日々の機械点検を確実に行い、点検及び技術力の向上を目指し、日々精進しています。

主な移動手段が車である佐賀県において、道路舗装整備は重要なインフラ整備であり、その施工を安全に施工してゆくのが私たち舗装部会の使命です。昨今の建設業を取り巻く環境として労働者や交通誘導員不足に加え、技術者の高齢化も進んでいます。佐賀県舗装部会では道路舗装技術の向上と継承を目指し、安全研修会や技術講習会の実施、1、2級舗装施工監理技術者や舗装診断士の資格取得に向けた勉強会などを実施し、若手技術者への技術の伝承や、人材育成に取り組んでいます。また、働き方改革を進めるためのＡＩやＩＣＴの導入により国が推奨するｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎを推進しています。

舗装部会会員数も年々増加しており、部会としての活動内容もより広く深くなってきました。私たち舗装部会会員一同は今年も道路舗装インフラ整備を通じて地域に貢献して行けるよう努力して参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

佐賀県舗装部会

会長 中野 武志

副会長 黒木 祐一郎
副会長 中島 信哉

［会員一同］
今泉建設㈱　㈱大島組　㈱岡村建設　笠原建設㈱　唐津土建工業㈱
㈱岸本組　栗原工業㈱　㈱栗山建設　黒木建設㈱　㈱坂口組
㈱修徳建設　㈱中島工務店　㈱中野建設　㈱中山組　㈱西九州道路
㈱日出島建設　平野建設産業㈱　富士建設㈱　松尾建設㈱　㈱峰組
牟田建設㈱　山口建設㈱　㈱山崎建設

［準会員］㈱政工務店

［賛助会員］㈱エスイーコーポレーション

【事務局】
〒840-0041佐賀市城内2-2-37 佐賀県建設会館3F
TEL0952-29-8010